夕刊 常磐新聞
八月二十九日
發行兼編輯印刷人 伊藤勝次
福島縣平南町五九 發行所 常磐新聞社
日曜祭日翌日休刊
一部二錢 一ヶ月五十錢
廣告料 一行 五十錢

本社 小名濱町古港一
◆支局所在地◆
平町材木町二〇
四倉町停車場通り
湯本町新校舍前
植田町金畑五

鰯漁期を數旬に控えて 百圓紙幣亂れ飛ぶ

低資五萬圓が流れ込んだ小名濱港

大漁前奏曲

鰮漁期を二ヶ月の後に控えた小名濱町の揚繰網漁業家は目下漁船の修理、漁網の手入、乘組漁夫の募集に躍起となつてゐるが、これに伴ふ莫大なる資金に付いて過般來漁業家有志約十名が漁業組合連帶保證で産業組合を通じ低利資金五萬圓の融通方を縣金庫へ要請中であつたが此程その決定をみて去る廿一日三萬圓廿六日二萬圓を小名濱信用組合より漁業家に手交されたので小名濱町は時ならぬ紙幣の洪水に一般漁業關係の下々までは勿論各商店、カフヱー等一齊に鰮前景氣が氾濫してゐる

は全然なく一兩日中に完全拂込濟みとなる見込みであると

荷馬車も通れぬ 鹿島 江名 縣道改修を

東北振興豫算で着工方を陳情

河野江名町長、志賀鹿島村長の兩氏は近く出福の上江名、鹿島を結ぶ縣道を東北振興豫算によつて明年度改修方を縣土木課へ陳情する模樣であるが同路線は昭和八年縣道編入以來、縣道とは名ばかり一切手を加へず途中にある二ヶ所のトンネルが五十年前開通した幅九尺高さ九尺といふ時代もので荷馬車も通れない有樣なので再三陳情してゐたものであるが改修の曉は鹿島村藏持より江名町の中心へ拔けられる關係から米薪炭の運搬は勿論平――江名直通バスにより料金としても約廿錢の格安に上り關係町民多年の憧れとなつてゐるものである

東北兩會社株式 第一回拂込

平支店分好成績

平町七十七銀行支店に申込まれた東北振興並に電力の兩會社株は計八千五百の多きに達したがうち四千七百株が割當られ十七日から二十五日までに第一回拂込を受けた事は既報の如くであり極めて好成績で廿五日までに五萬七千圓を拂込まれ僅に五六名が殘つたのみである、これは遠方のもの或は止むなき事情で旅行中の者等で放棄する意志のもの

平町各商店を 防空演習に動員

縣指導部の通牒で準備中

平町では來る防空演習に際し縣指導部からの通牒に基きこれが思想普及のため地元商工會に連絡商店の店頭陳列棚を利用して防空繪畫、漫畫、寫眞統計、防空標語等其他演習に因んだものを掲ぐべく目下計畫中である

三名共謀で 主家より盜む

平署に檢擧

小名濱町大字古港野崎丞之助氏方雇漁夫豊間村大字豊間字八幡町八小高廣吉(三四)は去る十九日より同家の雇漁夫二名と共謀し主家倉庫より麻繩、ロツプ、細繩、鉋金等三回に亘つて盜み出し同町古物商池田子之助外二名に十圓廿八錢で賣却分配して費消したこと發覺平署に檢擧された

◇天氣豫報◇
今晩 南ノ風晴
明日 南西風晴一時曇
平均溫度 二四度一分

●●●●● 特高課長初巡視

藥袋新特高課長は初巡視のため廿七日午後來平湯本町に一泊し廿八日午前各炭礦の思想狀況を視察し午後は平署の巡視を行ひ植田署に向つた

十二チーム入り亂れ 明日覇を競ふ

第四回湯本町内對抗野球戰

湯本町軟式野球聯盟主催第四回町内對抗野球大會は明卅日午前七時より湯本町營グラウンドに於て理事長鯨岡政一氏の開會の辭、副總裁鯨岡久一郎氏の注意事項指示の後、總裁石川町長の試球式によつて開始されるが各チームの組合は抽籤の結果左の如く決定した

△御幸町對上町の勝者と青葉、△無盡會社對遞友の勝者と辰ノ口△表町横町對品川會社の勝者と湯本澤◇東區對小學校の勝者と東町

尙前回の優勝チームは湯本遞友

平商校と就職

好成績を示す

平商業學校の卒業生就職斡旋運動は例年賣れ殘りのない好成績を收めてゐるが逐年就職希望者の増加から全部賣り込は漸次困難となつてゐるので今年も新學期早々本格的の運動に入る事になりこの程各方面に依頼狀を發送した

今年度徴集兵 抽籤決定

平町で二十二名

平町に於ける今年度の徴集兵は抽籤の結果左記に決定

△歩兵 下川原三浦清、鍛冶町吉田直吉、田町吉成清、新川町林三郎、同鈴木泰久、久保町和田光雄南町仲井秀三、胡摩澤伊藤英雄、長橋町川角幸一立町松本清太郎
△飛行兵 下川原木村正行
△輜重兵 材木町辻久次郎
△野砲兵 材木町二面眞雄下河原齋藤定雄
△主計兵 研町淺井忠良
△輜重特務兵 鎌田町小野照行
△看護兵 古鍛冶町眞田朝春
△騎兵 材木町大平富重、田町安田義隆、櫻町粂光雄
△鐵道兵 長橋町植頭正
△航空兵 白銀町鈴木正勝
(籤外)加藤政英、島昌滑鈴木幹男、人見四郎、長谷川圭吉、鈴木一夫

梨出荷主參集

來月九月三日平驛樓上で郡下産出の梨出荷主が參集出荷に關する種々の打合せを行ふ

水平線より

無名の漁夫【投】

本町有志諸氏の小名濱町發展策及び其の銷夏法賞に感にたえざるを得ません。各有志の意見中其幕合に無名の漁夫が一言申上げたいと思ふので有ります。一度方面を替へて海上水平線より小名濱を見たる時、何人が見ても長き長き漁港防波堤と商港防波の平力なる線内に港はかくれて中の波しづかさを常に航海者の胸に思はせるのであります。此の雄大なる防波堤たるや何者の中によりて造り上たかと考へる時は、造物者の造りしものにもあらず、又自然や成行にて出來た者でもないと思ふのであります。

然らば人が歩一歩として築き上げたと思ひばこれ又感に堪えざるを得ません。其歩一歩として築き上たとしたら何人の力でせうか。小名濱五十年このかた各名士林の如くありますが、先づ私は二氏を擧げて見たいと思ひます。一氏は當小名濱漁業界の恩人野崎武平氏一氏は現町長小野晉平氏と思ふのであります。前者は港灣は勿論津崎入合の恩人にして小名濱不滅の功勞者後者たるや第二期商港工事中小鐵道、町開發の活躍兩氏をして小名濱不滅の恩人と云つても過言ではあるまいと思ふのであります。此の功勞者に對し町は銅像を建て永く其德を讚い萬分の一も報いたいと我等望む次第であります。

無免許運轉手 ポストをひき倒す

好間村上好間トラック運送業石井左膳方助手石井竹三(二二)は無免許にもかゝはらず今朝五時五十分頃トラックを運轉して平町三丁目地内を疾走中運轉を誤り同町大谷時計店前の郵便ポストに激突轉倒せしめたかどにより平署に引致され目下取調中

今夕の迎へ火と共に 愈々盆の歡樂境へ

軒前に焚く迎へ火と共に待ちわびられた舊盆の歡樂境はいよいよ今夕から展開される、今十三日の墓參を序曲として明十四日からは各炭三日間休業し、揃ひの單衣も輕げに踊り明されるし在方ではジャンガラ念佛の供養が夜を徹して行はれる筈だ。しかも炭山は未曾有の好景氣の波に躍つてゐるし、農村は農村で繭の値はよし稻作も心配なしと來てゐるので心からの踊りを踊れるわけだ、翌十五日これらの踊り子は一齊に平に蒐ひ集り、驛前、田町、南町の三個所の櫓を取り圍む、色とりどりのその大圓陣は笛太鼓のリズムに乘り、夜が白んでも老若男女の悅樂はなほ盡き相もないのだ。

臨時列車と增車

平驛では盆二日間の雜踏に備へてガソリンカー、定期列車を增車する外卅一日夜から翌未明にかけ左の臨時列車を增發して踊り子や見物客の便宜を圖る事になつてゐる

△上り平發午後一一時二〇分(湯本着同一一時三三分)平發午前〇時一〇分)高萩着同一時四八分
△下り平發午後一一時四〇分(久之濱着午前〇時七分)平發午前〇時四分(久之濱着同〇時四二分)
△磐越線平發午後一〇時五十五分)小川鄕着同一一時一四分)平發午前〇時〇五分、小川鄕着同〇時二二分

あきれ果た鐵道員 酒を斷られて 父娘に暴力を振ふ

二十八日午後五時頃神谷村鎌田平機關庫鐵道手鈴木金明(四七)は酩酊の上同村農澤田末次郎(四七)を連れ出し同村鐵道員堀川富三郎(四七)方に至り「酒を吞ましてくれ俺は貴樣の上役だ、吞ませなきや首だぞ」と怒鳴り出し拒絶されるや、澤田と共力して貴樣は生意氣だとばかり矢庭に鐵拳を振つて堀川の顏面を毆打し器物を投げつけたりした上更に堀川の長女ユサ子(二二)にも暴力を加へんとしたこと發覺今朝平署に檢擧された

ポンプ購入決定

小名濱町定時町會は昨二十八日午前九時三十五分より開會、議案昭和十一年度追加豫算承認の件、專決處分報告の件、町營埋立地一部變更の件、自動車ポンプ購入同置場建造の件を滿場一致で可決正午閉會した

來月三日 採用試驗

應募者は不足

(既報)平職業紹介所並に各紹介所の斡旋により募集中であつた日立製作所見習職工採用試驗は來月三日學課口頭に亘つて施行される、尙應募者は既定人員に達しないので志望者は至急紹介所まで申込まれたいと

社告

舊盆に當る九月一、二日附本紙は恒例に依つて休刊致します
右御諒承願ひ上げます
八月三十日
常磐新聞社

冷涼の氣に滿ちて 愈々默思の秋へ(下)

九月のカレンダー

▲九日は重陽の佳節、俗に菊の節句と申します、菊には延壽客の異名があるので長命を祝つてこの日の儀式の花となつたのです、實際のところは、菊の花はまだ咲きません、昔は主上群臣に菊酒を賜はり、殿上の人々は詩を賦して宴節を壽ぎましたが明治以後は公私とも廢せられました、今の新宿御苑の觀菊御會は此の御名殘とも見るべきでせう▲十一日は二百廿日で、これまた農家の警戒日▲上旬には各美術團体の展覽會が上野に開かれ、また此のシーズンの呼び物、東京大學野球リーグ戰の火蓋が切られます▲十一日は二十六夜待、此の夜の月に彌陀三尊の影がうつると昔からいひ傳へられて月の出を待ち受け拜する風があります、本年の月出時間は翌十二日午前一時四十七分です
▲十八日は滿洲事變記念日
▲廿日からはお彼岸に入りますが、凡て春季の例にならつて行ひます▲廿三日は秋分の日です、つまり太陽が秋分點に達する日であつて、晝夜の長さが同じになり、この日以後、段々短くなります▲卅日は中秋名月團子、枝豆、柿、栗、などを供へてお月見をします▲以上の行事の外家庭の主婦には夜具の洗濯や仕立直しといふ大切な仕事が控へて居ます

衞生

夏の食慾不振にひきかへ秋口はとかく過食に陷り易いものですから、飮食はなるべく控へ目にし胃腸の健全をはからなければなりません、腸チフスが猖獗を極めますから豫防注射を受ける方が安全です、夏に始めた冷水摩擦は續けて行ふこと、ラヂオ体操も引きつづきお忘れない樣に洪水で浸水した時は床下の汚物は綺麗に取片つけ疊は上げて日光に干し、床下床上とも石灰を撒布して清潔にしなければなりません

園藝

櫻草や美女櫻を始め、秋蒔草花の種を苗床に蒔きます夏菊、牡丹菊類の株分け菊はこの月の中旬から開きますから、上旬中に靜かに鉢に移し、花には雨露を防ぐため覆を設けます、畑では根深葱の植えかへ、並に土寄せをなし、又甘藷の最終蔓返しをし除草に努めます

遊樂

鍋の物しづかに煮ゆる月夜かな今月の遊樂のピカ一は何といつてもお月見思ふ存分觀賞したまへ萩芝の賞覽を兼ねて近郊の野に史蹟を探るもよしその他、初秋の旅、納凉展覽會見物鎭守祭盆踊り見物など、名月の夜、あはれを解する友があつまつて歌を詠み、初雁や虫を聽くのも、またおもむき深い秋の催しではありませんか

大正火災保險株式會社 三井生命保險株式會社 代理店
磐城水產工業株式會社
鑛油部 魚市場
小名濱町築港内 電話一四四番

銘酒『玉の井』
長瀬彰義釀造
石城郡玉川村

御旅館 御料理
吉田屋 本館 別館
小名濱町 電話十四番

佛壇佛器具各種賣出し
舊盆!年に一度の佛の供養に何人樣も御準備を!
佛壇、位牌、佛膳、佛椀、經机、高月、茶椀臺
木魚、木柾、經本、球數、過去帳、輪灯臺
線香立、花立、常花、ローソク立、香爐、佛器
新盆の御家庭へ贈つて喜ばれる佛器具を御勸め致します
丸ほん商店
平三丁目・電話三五九番

創業以來茲に二十年皆々樣の深甚なる御引立に相成り誠に有難く厚く御禮申上ます 私は創業前東京技藝校を卒へ造花の研究を致して居りますが未だ一人前の藝術家として立つ事が出來ません。此後皆樣の御指導の下に一層研究致し度御批判の上御引立御鞭撻御滿足を與へる事が出來ます樣切に御願ひ申上ます
店主 山田信次
祝 弔 造花調製
■祖先崇拜は家庭繁榮の礎■
山光堂
平四丁目局通り 電話五五〇番

◉お盆の御用意は!
佛壇 位牌 塗 金物佛具品
取揃へて有ります

ウマイ、ヤスイ
うどんは万に限る
平町土橋 電話四八九番
幅廣うどん 一把六錢
ひもかわうどん 同 六錢
細うどん 同 七錢
ウーメン 同 七錢
ソーメン 同 七錢
そば 同 七錢
支那そば 大一把十錢
うまい自慢うどん 一把四錢
やすいニコミうどん 一袋十錢
直ぐ煮て食べられる うどん一本毎に縱に穴をあけてあります
納涼ひやむぎ 一把七錢
一箱三十把入、四十把入、七十把入
色々あり勉強販賣
麥茶あります 一升 十六錢
◎特上砂ヌキ洗ひ胡麻もあります 一合五錢

再び新東相場に就て

楠太郎

大凡株式相場に志す程の人にして罫線を論せるはなし、然かも大部分は罫線にて相場の出來るものなら世の中に株で損するものなし罫線を論ずるものにして成金ありやと」然らば其の評者の多數は罫線に深き研究をすゝめ居るやと言つて、排斥論者の多くは一向に研究などは二の次ぎとして只獨りよがりにケイ線排斥をなしつゝあること恰も「メートル」排斥に似たり。即ち一義的には食はず嫌ひと次ぎは多少の心得ありて自分免許のケイ線家となり其により欠損を招きたる結果として所謂ケイ線排斥論者となるものあり、第三義的には心得ありて信せざる程度へすゝみ、第四義的に論ずる時、初めてケイ線の必要と絕對性を考ふることになる順序なり。

本文の記者は研究などと『口はばつたく』言ふ程の研究などは素より積まざるも、研究十年、幾分語る所あり、是を現實に應用して其の必要性を認むるに至れり。

何事にても温故修業は誠に必要のことにして株式ケイ線の如きも一言以てせば株式騰落の正確なる記錄にして、爰に偶意する努力を稽ふる資料とするものなり苟も株式を考ふる程の人が過去の記錄を排斥する如きは謂はれなきことなり。

株式中殊に新東の如きは殆どケイ線の指示する儘に動くと見るを可とせむ、記者は大方の諸君に先に新東の買賣否少くも毎日の價格位は熟知するの要ありと勸告したる關係上、一歩を進めてケイ線の絕對性を論じたる次第なり

新東株其は實に商品の保險緊ぎの妙あり、又全般的なる社界狀勢が反映することは先日論じたる所にして外交、軍事否日本を中心とする內外に起るあらゆる事象の數字に換算せられたるものを一つの價格に表はし世人に知らす所の警鐘なりと斷づるものなり。

既に新東の動きが相當以上に大切なりことゝなれる以上、ケイ線の必要なることも亦必然と言はざるべからず。

うらぼん

大井一

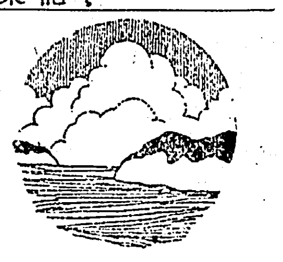
貧しくも燈籠一つ買ひ求め盆迎へんと街に出でにき

盂蘭盆の供へ貧しや初物もなくてみのらぬきびもぎて來ぬ

とく焚けと迎火をせく母上は嫁失ひて寂しかるらむ

水打てば庭靜まりて燈籠の灯かげほの淡くかししのばる

かねたゝき地藏和讃をとなへゐる子の肩細きに妻をしのべり



夏の夜

田端弓子

悲しみを、かみしめかみしめて
身も細る
忘るゝもいや
痛いきづ口をまぶしい日にさらし
むすがゆい風にさらして
顔ゆがめつゝ
しかも心の奧深く
どこかうつとりと——星の淡い
夏の夜
悲しみの這ひより這ひよりて
身の細る
うずく齒ぐきにむずかる
赤子の心
胸ぬちにうごめく草の芽の痛い土の心
ほろにがく
わびしく
むなぐるし
夏の夜

花園

清見茂

眞夏の花園には頽廢があつた。
赤に青に白に紫に
それはチカチカと陽光を碎いて
にんまり横目して微笑んだ
夢遊病者のやうに飛び込んだ
蝶があつた
一匹三匹七ひき
花園はくもの巣をふりまいて
蝶は阿呆のやうにしたゝか香に醉つた。
私は花園の外にゐた
目を閉ぢては渴望し
目を開いてはおびえた
二十六歳になつて×を知らぬ狂ほしさに
私は胃の腑を覗かせて自嘲つたり
狂人の樣に目をむいて怒つたり
孤兒のやうに自分の心をいとほしんだりした。

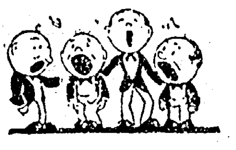
幸福

矢島大助

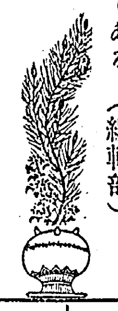
足の傷も癒つた
ひよう、ひようと口笛を鳴らしながら
ひとり山路をゆけば
おゝ俺の幸福は
白い雲に乘つて
悠々と青空を流れる
見ろ
紫紺の山脈から
白い鳩が飛びだして來た
彼奴等も
倖の幸福を
歌ふのであらうか。

與太は亂れ飛ぶ

投稿歡迎



與太欄を借りて、一言御願ひ、本紙は善惡共に正確なる速報と云ふ事には人知れず努力もし、郡內樞要の地には支局を設け一寸の隙もなく活動してるが、記事を出して呉れる人々は自分の都合の良い事ばかりで潜んだ惡は隱蔽して其のヒントを摑むに隨分苦心する、善を推賞し惡を懲すは新聞紙の使命の一つとせねばならぬ、其意味に於て潜んだ惡の暴露を本紙へ御投稿掲載の分に對しては、本紙二ケ月を無料で配布する事にする、社としては社會の上層にあり表面紳士の假面を被り裏面に於ては極惡道生活をする奴などを歡迎したい斷つておくが本紙は絕對恩人を作らぬ主義だから、あの人は書けない、あの奴は嫌いなどと云ふ偏頗な行爲は絕對に採らず公平無視でゆく、その點は天下の大新聞にも敢て一歩も讓らぬだけの自信と覺悟を持つてゐる、敢て寄稿を期待する所以である。（編輯部）



讀後感（三）

TT生

島木氏が一人の人物をうまく描き上げたのを見たことがない、どうも島木氏の小說からは人物や情景、動作等を髣髴と感ずる事は出來ない、これは島木氏の欠點であらう。欠點なぞ云ひはじめたらもう島木氏の小說ほど欠點だらけな小說はなからう。第一この「若い學者」にしてからが、前述のやうな空々漠々たる幽靈のやうな人間が動いてゐるし、その上この小說全体がほどんど理屈だ。これは一名「理屈小說」と稱してもいゝぐらゐだ。正にこれは小說の神樣を悲しませるものであらう。

ところで小說とは何ぞや形象化とは何ぞや、人間とは何ぞや——だ。この幽靈のやうな登場人物を通して言はしめる藝術ならぬ理屈が何と切々と胸に刻み込んで來ることか。

形象化が何だ、描寫が何だ、それを小說の虎の卷のやうに掘り廻す奴は犬に喰はれろ。ここで石井の鼻がどうついてゐやうと、耳が小々位大さかつたり、眼がくぼんでゐる位の萬人が大差なく備へてゐる形狀や動作を四角四面の小說道にのつとつて書いてみたつて何になる。——とまあこの小說は小說常識に反つ方を向いて、獨りで肩をそびやかしてゐるやうだ。

それでいいのだ、誰かがつて島木氏の小說を「級長小說」と云つたが、これでは「說得小說」或は「論文小說」と云はなければならない。小說道を無視し形象化も描寫もへつたくれもなく、一つに「眞實」を「正しきもの」を「良心」を說得して行くさまは、正に求道師の樣な感じさへ與へるこれはきつと小說なぞと云ふものではないかも知れぬまた、これこそ本當の小說であるかも知れぬ、またこれが作家の情熱の火でありそしてこの火は人を溫め熱しせしめることだけは確實である。

「光を背負ふ男」——荒木巍氏

これはまたブルドッグのやうな小說だ。一旦現實に喰らひついたら雷樣が鳴るまで離さないと云ふ強靱なリアリズムだしかもここで荒木巍氏は從來の荒木巍に一つのプッスをしてゐるつまり徹底したリアリズムの本道から奔騰して來る理想——ロマンチシズム。

各種ゴム靴、ゴム合羽、ゴム前掛
革靴、運動靴、革履製造
たぬき印
三島印 ゴム工業所特約店
小島履物店
福島縣小名濱町

產科 婦人科 專門
井坂醫院
平町田町 電話五五九番

特價提供
時計 眼鏡 萬年筆
修繕確實。丁寧本位
貴金屬類は是非!!!
小名濱町本町
松原時計店

御中元の贈答品は
体裁の良い
金成屋洋品店
小名濱町中島 電話一五三番
受けて良い商品切手壹圓ヨリ

口腔外科
齒科一般
森合齒科
植田町本町通り
院長 森合芳男
電話植田七十一番

舶陸機關
製作修繕
丸八鐵工場
小名濱町築港入口
電話一七五番
迅速 勉强は工場の本領

曳前のお知らせ
家屋其他動產の移動
少しの損傷もさせないで曳前の御依賴に應じます
御希望の方は一應御相談下さい
小名濱町築町（築港地內）
三崎組 北村芳藏

森口產科婦人科醫院
小名濱町舟引場登記署先 電話二〇一番
◆入院應需◆
江名町分院 江名町郵便局通り
毎日午後二時——六時迄出張診察

內科外科
小兒科
花柳病科
平川醫院
江名町 電話二六番

機械新設 體温計無料檢査
あなたの體温計は正確ですか？
目に見えぬ狂ひを見せる檢度器
毎月十日は無料で
檢定して差上げます
日本酸素株式會社
吸入用酸素
酸素吸入器
特約指定 販賣店
商工省指定 計量器 販賣店
資生堂
福島縣小名濱町
電話一四七番

鑑定
地理、家相、身の上、夫婦相性、移轉、起業、開業、普請、造作、旅行、其他人事百般鑑定す
遠方の判斷は生年月日事項明記御申越の上鑑定料金壹圓御送り有りたし
但し御困りの方は無料鑑定す
特に地理、家相の實地測量鑑定を望まるゝ方には便宜出張に應ず可候
神道扶桑教東北支部理事
新妻陰陽館主
福島縣江名町

內科、小兒科、婦人科、花病科
久保田醫院
小名濱町
電話二二番

鐵道省指定記念に
こたき♨ゆきの
皆様の足賃を無くする
無料大衆サービス!!!
◆乘合自動車は……
ユモト——小名濱間無料サービス
乘車券を御利用下さい
乘車券差上所 ユモト驛前（湯本自動車商會 矢內自動車部） 小名濱（馬目自動車部 西野屋輪店）
◆貸切自動車は……
ユモト——小名濱間五人様以上無料サービスいたします
（サービス料金はお勘定よりお引き致します）
△そうしますと其の他の方面からの皆様にはどういふ事になるか？
平町方面からはコタキまでの料金二圓のうち一圓はコタキサービスになり結局お一人二十錢づゝですむことになります
△尚御宴會は從前通り二十人様より平、植田までお迎ひ自動車を差上げて居りますからこれまた合せてどし／＼御利用下さる様御願申上ます
（御宴會は前以つて電話にて御申込下されば一層便宜です）
小滝鑛泉
鐵道省指定旅館
瀧の湯
電話【小名濱】一〇三番

藥……衛生材料
寶屋藥舖
小名濱古港町
電話三十九番

衛生材料・治療器具・
御用命は
白石藥舖
きゝめでうれる
りん病藥 妙淋丹 十日分三圓
販賣元 小名濱中島通り 電33番

薄利多賣主義
建築用材
製板
內山材木店
小名濱町後

御料理
御待合
福住
（小西屋支店改め）
江名濱港
△簡易食堂の設備あり
△御仕出し迅速に應じます
電話百十九番

合理化せる文化的………
セメント瓦製造販賣………
高木惣治
小名濱町西町

口腔外科
齒科一般
菊田齒科
診療毎日晝夜トモ
植田町驛前
菊田齒科醫院